

Unity Connection クラスタ複製のリビルド

内容

[概要](#)

[問題](#)

[エンタープライズレプリケーション](#)

[Unity Connectionの複製](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、複製の同期が取れなくなる場合や完全に壊れている場合の検証と、その問題に対処する方法について説明します。

問題

Unity Connection(UC)内で実行される複製には、次の2つのタイプがあることを確認することが重要です。

- エンタープライズレプリケーション(ER) : プラットフォームCisco CallManager(CCM)関連
- Unity Connectionの複製

エンタープライズレプリケーション

パブリッシャとサブスクライバの両方でERが常に(2)のリアルタイム監視ツール(RTMT)状態であることが重要です。

- これを確認するには、`utils dbreplication runtimestate`コマンドを入力します。
- `utils dbreplication status`コマンドも使用できます。

Unity Connectionの複製

適切なERが実行されていないと、Unity Connectionレプリケーションが正しく動作しません。UCレプリケーションのトラブルシューティングに使用するコマンドは次のとおりです。

- `utils cuc cluster overwrittenb`
- `utils cuc cluster renegotiate`

解決方法

ERがダウンしている (RTMTが=2でない) 場合は、次の手順を実行します。

1. サブスクライバで、utils dbreplication stopコマンドを入力します。次の手順を開始する前に、完了するまで待ちます。
2. パブリッシャでutils dbreplication stopコマンドを入力します。次の手順を開始する前に、完了するまで待ちます。
3. パブリッシャとサブスクライバで、utils dbreplication runtimestateコマンドを入力します。両方のサーバがRPC reachable column = YESであることを確認します)。
4. パブリッシャでutils dbreplication dropadmindbコマンドを入力します。
5. サブスクライバで、utils dbreplication dropadmindbコマンドを入力します。リリース9.xを実行している場合は、ステップ8に進みます。
6. パブリッシャで、utils dbreplication clusterresetコマンドを入力します。次の手順を開始する前に、完了するまで待ちます。
7. サブスクライバを再起動します。次の手順を開始する前に、サブスクライバが復帰し、サービスがすべて開始されるまで待ちます。
8. パブリッシャで、utils dbreplication reset allコマンドを入力します。
9. パブリッシャとサブスクライバで、utils dbreplication runtimestateコマンドを定期的に入力し、それぞれが相互に持っているRTMT状態を監視します。レプリケーションが正しく設定されると、両方が最終的に(2)に進みます。これには時間がかかることがあります。
10. 長時間待った後でRTMT状態が0から2に変わらない場合は、パブリッシャとサブスクライバの両方から次の情報を収集します。utils dbreplication runtimestatefile get activelog cm/trace/dbl/*.logfile get activelog cm/trace/dbl/sdi/dbmon*.txtfile get activelog cm/log/informix/dbl_repl*.logfile get activelog cm/log/informix/ccm*.log
11. Technical Assistance Center(TAC)でケースをオープンし、ステップ10で収集した情報を提供します。

関連情報

- [『Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions Release 8.6\(1\)』](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)